

# —青森県細胞検査士会—

## 「第1回 細胞検査士受験生のための スクリーニング講習会」を開催して

四釜 育与<sup>1)</sup>、須藤 安史<sup>2)</sup>、清水 道弘<sup>3)</sup>、渡邊 純<sup>4)</sup>

1) 青森県細胞検査士会会長

2) 青森県臨床検査技師会病理細胞診検査部門 部門長

3) 前青森県臨床検査技師会病理細胞診検査部門 部門長

4) 青森県臨床細胞学会 会長



# 背景

# 青森県の医療

背景: 青森県の平均寿命は、男女とも全国最下位 青森県 がん患者がどの段階で診断されたか

限局でがんが発生している割合が少ない

## 1 青森県の平均寿命

青森県の平均寿命は、男女とも全国最下位(図1)です。

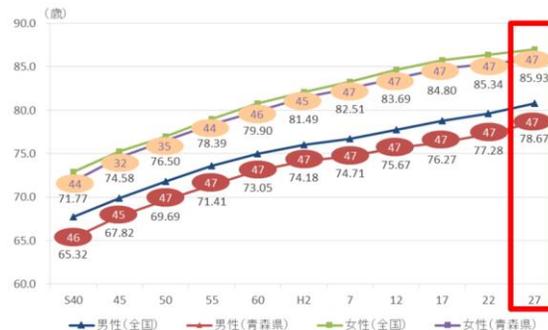


図1 平均寿命の推移 (出典: 平成27年青森県版生命表の概況)

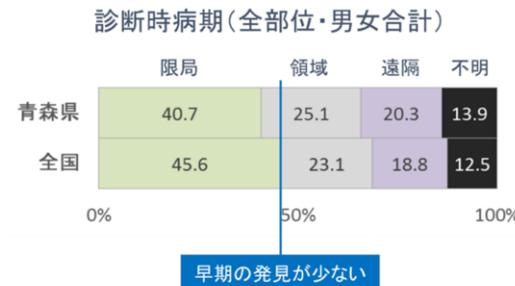


図9: 青森県と全国の比較 診断時病期 (全部位 (※上皮内がんを除く) 男女計) (出典: 青森県がん登録報告書平成25年分集計)

青森県はがん死亡率が全国第1位、罹患率は全国並み

背景: 細胞検査士の不足

## 罹患率と死亡率(全部位・男女別・人口10万対)

	男性		女性	
	罹患率	死亡率	罹患率	死亡率
青森	425.4	210.8	296.0	106.3
全国	436.1	172.4	307.8	90.7

図8 青森県と全国の比較 がんの罹患率と死亡率 (全部位 左: 男性、右: 女性) (出典: 青森県がん登録報告書平成25年分集計)

	青森県	長野県
がん死亡率	1位	47位
人口(単位: 千人)	1,263	2,063
病理医(対人口比) ※	30 (2.3%)	43 (2.0%)
細胞検査士(対人口比) ※	67 (5.2%)	149 (7.2%)

※: 公益社団法人 日本臨床細胞学会 地域連携連絡委員会. 平成29年度全国都道府県地域連携組織活動報告  
 ※: 統計でみる日本. e-Stat 政府統計の総合窓口 2018年度 [cited 2020 Mar 13].  
 Available from: <https://www.e-stat.go.jp/regional-statistics/ssdsview/prefectures>

# 青森県臨床検査技師会 病理細胞診検査部門研修会 スライドカンファレンス



講師：須藤部門長

日時：2015年～現在に至る(年1回)

場所：八戸市立市民病院

参加人数：2019年度68名(細胞検査士29名、学生7名)

企画主旨：稀少症例や鏡検時に見落とししやすい症例、比較的日常生活しやすい体腔液検体の症例、上皮性腫瘍に類似した非上皮性腫瘍(悪性リンパ腫を含む)の症例

## 目的

細胞検査士資格認定試験の  
受験者の全員合格を目指す

青森県内の医療機関への  
細胞検査士就職斡旋

## 2018年度実習風景

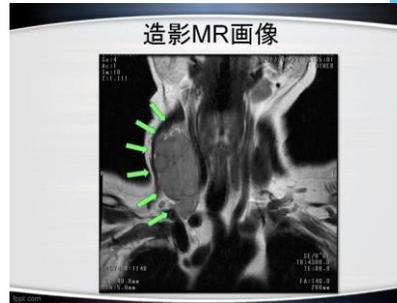
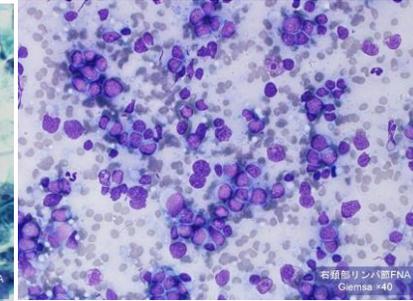
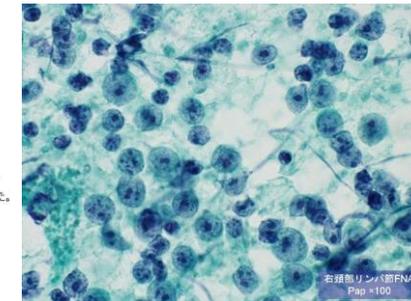


スラカン症例の鏡検

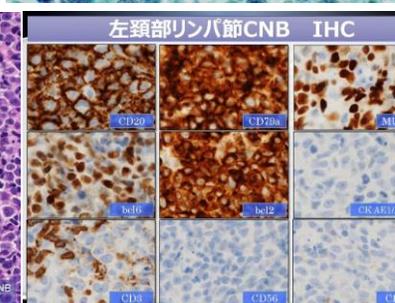
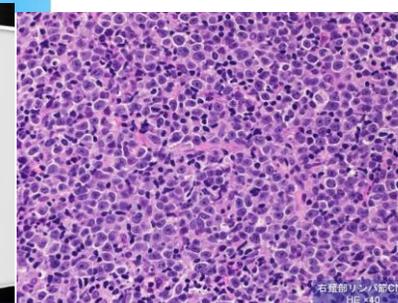
### 症例1

患者：50歳代、女性  
主訴：右頸部腫瘍  
既往歴：左乳癌(15年前 他院にて左乳房全摘術施行)  
家族歴：特になし  
現病歴：2017年6月、右頸部腫瘍の精査目的に、紹介受診。  
CT、MRIより、右頸部リンパ節への乳癌転移が疑われた。

細胞採取法：右頸部リンパ節 FNA  
Pap-Giemsa (Diff-Quik)



造影MR画像



### 症例1のまとめ

- リンパ節FNAの鏡検時には、病理既往歴とその組織型を確認する。
- びまん性大細胞型B細胞リンパ腫は、集塊様の集簇で出現するケースもあるため、癌の転移との鑑別が必要。
- LBC標本(SurePath)では特徴的な細胞の膨化傾向がみられるが、免疫染色の追加も考慮し、最初に塗抹標本である程度疾患の予測をしてから、LBC標本を追加作製する。

### 【出題意図】

1. 転移性かリンパ節原発か？
2. 鏡検時に既往病理歴を参考にしているか？
3. 組織型の鑑別困難時は、次に何をやるか？

【病理診断】Diffuse large B cell lymphoma

【鑑別疾患】転移性腫瘍、低分化腺癌、神経内分泌腫瘍、無色素性悪性黒色腫、類上皮形態を示す肉腫

# 第1回 細胞検査士受験生のためのスクリーニング講習会

## 講習会・実習

青森県細胞検査士会と  
青森県臨床検査技師会と  
弘前大学医学部保健学科  
の協力による試験対策

日 時:2019年11月2日(土)  
場 所:八戸赤十字病院  
主 催:青森県細胞検査士会  
共 催:青森県臨床検査技師会

持ち込み顕微鏡:3台  
参加人数:12人

協力技師:8名  
細胞検査士6名、臨床検査技師2名

参加費:無料

### 【講習会内容】

スクリーニング問題:20枚×5分

同定問題:10枚×1分

### 【講習会参加した学生さんの感想】

人が移動する形式での練習を行うのが初めてで、目合わせ等も含めて良い経験となりました。数種類の顕微鏡を用意していただき、緊張感のある中で試験を行っていただいたことで本番を想定した練習ができました。標本も各施設から集めていただいたことで、異なる染色性の経験ができ、難易度も適切に揃えていただき大変感謝しております。本番前にこのような機会をくださり、本当にありがとうございました。残りの1か月頑張ります！



スクリーニング風景

## 開催してみても問題点

- ・症例・標本の確保
- ・顕微鏡の確保
- ・開催場所

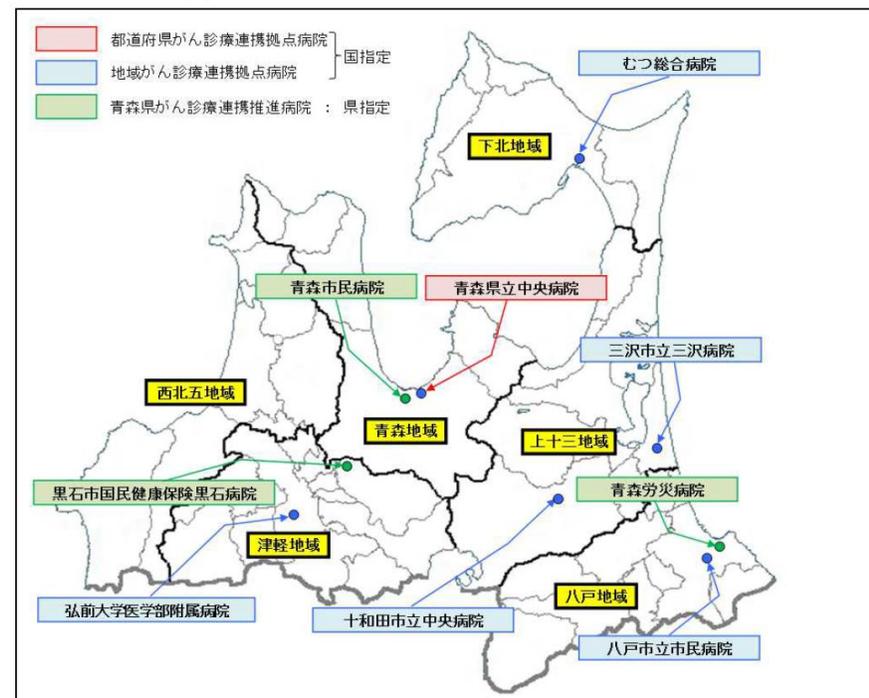
## 結論

第52回細胞検査士資格認定試験に8名合格できた

2020年度は、11月上旬、青森市で開催する予定です

## 開催して良かった点

- ・いつもと違う環境で、緊張感をもって受講できた
- ・いつもとは染色性の異なる他の施設の標本を観察できた
- ・青森県内の細胞検査士、臨床検査技師との交流を持てた



## 第3期青森県がん対策 全体目標

1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実  
～がんを知り、がんを予防する～
2. 患者本位のがん医療の実現  
～適切な医療を受けられる体制を充実させる～
3. 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築  
～がんになっても自分らしく、地域共生社会の実現～